

築27年のマンション最上階の、眺めと風通しを生かした住まいである。センターコアの夫婦寝室が活動時間の差を制御し、下地を含む4層で防音・遮音して断熱効果も期待できるタイル張りの床がワンルームを埋め尽くす。縦繁の障子のデザインは藪の中を想像させる。

リフォーム前後の写真



② 玄関から食堂へと抜ける廊下



③ 食堂・居間は、床はレンガタイル敷きのゆったりとした空間



④ 白い壁の内側は寝室。居間とは地窓を通して程よく繋がる



⑤ 障子で既存サッシの無骨さを消す



⑥ 居間と連続する開放的な妻の職場



⑦ 独立性の高い寝室



① before (居間・食堂)

すべての撮影: 若原アトリエ

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

30代のご夫婦のためのマンション1住戸(76㎡)の全面改装です。浅草の風景を一望できる地上11階(最上階)の部屋に職場を兼ねた夫婦お二人の住まいを設計しました。

昼間、自宅で仕事をする妻は、オンオフの切り替えがうまく出来るよう明るく風通しの良い空間を望んでおり、反対に夜勤の多い夫は、妻の作中に就寝することもあり、お互いが気遣いせず過ごせる環境が必要でした。そこで、間仕切りを取り払い風通しの良い一室空間とし中央に寝室と納戸をまとめたボックスを入れ子状に配置しました。

寝室は外部と縁が切れ、昼間でも完全に部屋を暗く出来き、その周りは光と風の通り道になりました。

床仕上は存在感を感じられるレンガタイルを全面に敷き詰め、バルコニーに面した窓は高さを少し抑え、さらに下半分だけに和紙を張った障子を入れました。床の重厚さと、高さを抑えた窓によって室内の重心は低くなり、地上30mでありながら地面のような重さを感じることが出来る、ここでしか体験することができない空間ができました。

性能向上の特性
防音・遮音性能

特に配慮した事項
レンガタイル仕上の下地。撓みで割れないように構造用合板24t二重張りとし、さらに捨てベニヤの上にレンガタイル張りとした。

データ

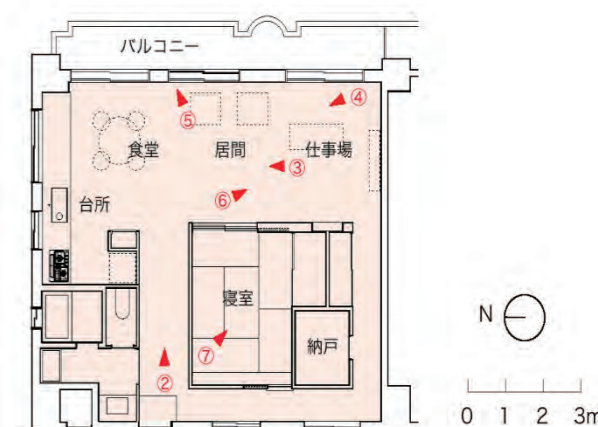
所在地	東京都台東区	新築竣工年	1990年	築後年数	27年	施工期間	90日間
該当工事床面積	76.26㎡	総工事床面積	76.26㎡	該当部分工事費	1100万円	総工事費	1100万円
居住者構成	65歳以上:0人 / 15~64歳:2人 / 15歳未満:0人						

リフォーム前の平面図



リフォーム前

リフォーム後の平面図



リフォーム後

リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □エントリ/ □マンション共用部分/ □その他